

4-192728

Cited Reference No.6 in PCT/IPEA/408 and 409

Laid-open Patent Application No. 4-192728 laid open on July 10, 1992

Patent Application No. 2-324486 filed on November 26, 1990

Applicant: Murata Kikai Kabushiki Kaisha

Inventor: T. FUKUI

Title: Portable Wireless Telephone Set

Claim:

1. A portable wireless telephone set provided with:
memory means 7 for storing the telephone number registered of each of a desired number of systems or other system identification information;

present point determination means 8 for determining under control of which system the present point is by comparing the system identification information transmitted from a base station having the strongest receiving signal with the system identification information stored in said memory means 7; and

set means 9 for reading the telephone number or other information registered in the system determined by said present point determination means 8 and setting the read information as the telephone number or other information for present use.

Column 4, lines 6-7

Therefore, the telephone number is automatically changed to the appropriate one.

しかしながら従来の携帯無線電話機では、電話番号の切り換えを使用者がキー操作等により行う必要があるので、操作が面倒であり、切り換えを怠れたり間違えたりすることがあった。

課題を解決するための手段

本発明は、所望数のシステム上の各システム毎に登録されている電話番号や各システム固有の情報等を記憶する記憶手段と、前記所望数のシステム上のうち受発信号の最も強い基地局からのシステム固有の情報と比較して現在いるシステム上の所属地域に居るのか判断する現在地判別手段と、この現在地判別手段により判断されたシステムに登録されている電話番号等を前記記憶手段から読み出して現在使用すべき電話番号等として設定する設定手段とを設けたことを特徴としている。

作用、

近地局から送られる情報 (Overhead Message) (以下「OHM」と記す) に含まれる各システム固有の情報 (System Identification) (以下「SID」と記す) 等を記憶する記憶手段7が構成されている。識別部1は、所定数のシステムのうち各通信手段7に記憶されているSIDとを比較して現在いずれのシステムの所轄地域に居るかを判断する。現在地判断手段8や、現在地判断手段9により判断されたシステムに登録されている電話番号等を記憶手段7から読み出して現在使用する電話番号を記憶手段7から読み出して現在使用する電話番号等として設定する設定手段9等をソフトウェア的に実現している。

次に動作を説明する。電話をかけるために操作部3により所定の操作を行うと、現在地判断手段8は、受信番号直の最も強いチャンネルを選択し、そのチャンネルで基地局からのOHMを受信して、OHMの中に含まれているSIDと同じSIDを記憶手段7に記憶されているSIDから検索する。これにより、受信番号直の最も強いSID

システムが判断でも、現在いずれのシステムの所轄地域に属するのかが判明するので、対応手段は、そのシステムに登録している電話番号等を、現在使用すべき電話番号等として設定する。この状態で携帯電話電話機を使用すると、電話番号等を登録する携帯電話電話機を使用する、電話番号等を登録しているシステムの所轄地域内における使用になり、ローミング料金を支払う必要はない。

上記のような動作を実現するための制御シーケンスの概略図について、第2図(A) (B)のフローチャートを参照しながら説明する。先ず、ステップ1で記憶手段7の最初の番地に記憶している電話番号番号のデータを設定手段9により設定させ、その優先システムすなわち通話系のシステムから所属系のシステムかを選択し、フラグを11にする。次にステップ2に進んで、現在出かけるにしているシステムの制御システムで受信機が停波しているシステム2つのチャンネルを選択し、最も強いチャンネルに合わせる。次にステップ3に進んで、3秒程度に設定されたタイマーをスタートさせる。次にステップ4に進んで、タイマーがタイムアップしたとき、タイマーをリセットして、ステップ1に戻る。

⑩日本国特許庁(JP)

⑫ 公開特許公報 (A) 平4-192728

④公開 平成4年(1992)7月10日

類別記号	品名規格及仕
100	...
101	...
102	...
103	...
104	...
105	...
106	...
107	...
108	...
109	...
110	...
111	...
112	...
113	...
114	...
115	...
116	...
117	...
118	...
119	...
120	...
121	...
122	...
123	...
124	...
125	...
126	...
127	...
128	...
129	...
130	...
131	...
132	...
133	...
134	...
135	...
136	...
137	...
138	...
139	...
140	...
141	...
142	...
143	...
144	...
145	...
146	...
147	...
148	...
149	...
150	...
151	...
152	...
153	...
154	...
155	...
156	...
157	...
158	...
159	...
160	...
161	...
162	...
163	...
164	...
165	...
166	...
167	...
168	...
169	...
170	...
171	...
172	...
173	...
174	...
175	...
176	...
177	...
178	...
179	...
180	...
181	...
182	...
183	...
184	...
185	...
186	...
187	...
188	...
189	...
190	...
191	...
192	...
193	...
194	...
195	...
196	...
197	...
198	...
199	...

109 G 8523-5K

N 7117-5K 7100-5K

未読求項の数！(全5頁)

④発明の名称

②特 願 平2-324486

②出 題 平 2 (1990) 11 月 26 日

小竹地区は、田舎の風景が残り、自然豊かな環境が特徴である。また、近年は観光客の増加に伴い、観光資源の開発が進んでいる。この地区は、自然と文化の融合が感じられる場所である。

社本社丁埋肉

⑤ 市 區 一 社 區 性 公 益 事 業 社 會 工 作 者 的 工 作 狀 況 如 下：

同德中理人理

明細表

従来の技術

例は米国等においては、携帯電話電話機のシステムが普及せず、電話番号を発信しているシステムの前地域外で発信地電話機を使用する（ローミング（Roaming））と除して付加料金が加算され、通話料が高くなる。このため、例えばロサンゼルスとダラスとシカゴとの都市を順次に行きまわする人の場合、ロサンゼルのシステムにだけに電話番号を発信してダラスとシカゴにおも、ロサンゼルスとダラスとシカゴの各システムに各々電話番号を発信し、使用時に地域に応じた電話番号を切り替えて使用する方が通話料を削減できることがある。

このため以来の第一部の携帯電話電話機は、所望のシステムに急した複数の電話番号等を記憶し、それらを切り換えて使用する機能を有しているが、電話番号等の切り換えは使用者がキー操作等により行っていた。

發明が解決しようとする課題

1. 発明の名称
携帯用簡易式洗濯機

2. 特殊建設費の算出

(1) 所置設のシステム上の各システム毎に登録されている電話番号や各システム固有の情報等を記憶する記憶手段と、前記所置設のシステム上の受信番号の最も強い基地局からのシステム固有の情報と前記記憶手段に記憶されているシステム固有の情報とを比較して現在いずれのシステム上の所置基地局に居るのかを判断する現在地判断手段と、この現在地判断手段により判断されたシステムに登録されている電話番号等を前記記憶手段から読み出されて、現在使用すべき電話番号等として設定する設定手段とを設けたことを特徴とする携帯無線電話機。

ある種の装置の説明

3. 発明の詳細な説明

2. 政策上の利用分野

本免明は、自己の電話番号として預校の電話番号を登録可能な携帯無線電話機に関するものである。

アしているか否かを判断し、タイムアップしていなければステップ5に進んで、システムからのO H Mを受信したか否かを判断する。O H Mを受信していればステップ6に進んで、受信したO H M中のS I Dと現在設定されている電話番号等のデータ中のS I Dとが一致しているか否かを判断し、一致していればこのルーチンを終了する。ステップ6において受信したO H M中のS I Dと現在設定されている電話番号等のデータ中のS I Dとが一致していなければステップ7に進んで、記憶手段7に別の電話番号等のデータを記憶しているか否かを判断し、記憶していればステップ8に進んで、記憶手段7の次の番地に記憶している電話番号等のデータを設定手段9により設定させ、ステップ6に戻る。ステップ7において記憶手段7に別の電話番号等のデータを記憶していないと判断すればステップ9に進んで、現在選択されているシステムが記憶手段7の最初の番地に記憶している電話番号等のデータに対しては優先システムであるか否かを判断し、対応していないればステップ1

チャンネルに合わせていないと判断すればステプ12に進む。

このように、予め電話番号等を提出している所
望地のシステムのうち、受信機番号の最も強い
システムが存在している地域を所轄地と
し、そのシステムに登録されている電話番号等
を自動的に転送できるので、
所望地へ転送する際に電話番号を切り換える
手数がかからず、しかも切り換え完了後、作
業を間違えずにローミング料金を受払うよう
な仕組みに防衛してある。

果明の効果

以上説明したように本発明によれば、所望のシステム番号の各システム番号に登録されている電話番号と各システム番号の招請番号とを記憶する電話番号と、前記登録のシステム番号のうち任意の電話番号と、前記記憶のシステム番号の電話番号とを結合して記憶されているシステム番号の電話番号とを本発明の手段で現在行っているシステム番号の所望の電話番号と照合する。この照合は電話番号と、この電話番号と照合する電話番号とを照合する。

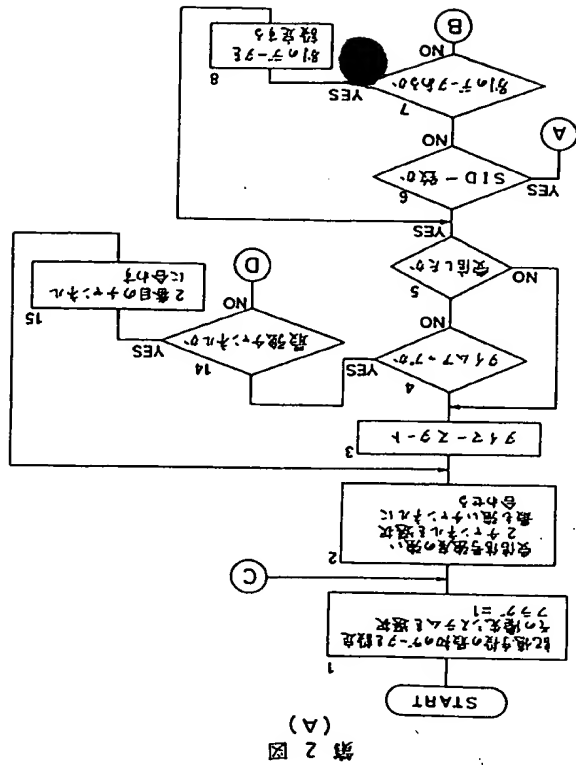
[illegible]

電段により判断されたシステムに登録されている電話番号を呼び出し出して現在使用すべき電話番号として設定する設定手段とを設けたので、予め電話番号を登録している希望登録のシステムのうち、受信側局の最も近い若しは隣り合う現在存在している他局を所轄地域とするシステムを判断し、そのシステムに登録している電話番号等を自動的に設定する。したがって、原則の他局に移動する毎に電話番号等を切り換える手段がなからず、しかも切り換えを忘れたり誤作を間違えたりしてローミング料金を支払うような事態を良好に防止できるといふ優れた効果を奏する。

4. 図面の簡単な説明

第1圖は本発明の一実施例における振動駆動型
圧盤の要部構成図、第2圖は切替部の動作の順略
を示すフローチャートである。

手段。
7……記憶手段、8……現在地判斷手段、9……設定



第 2 図 (A)

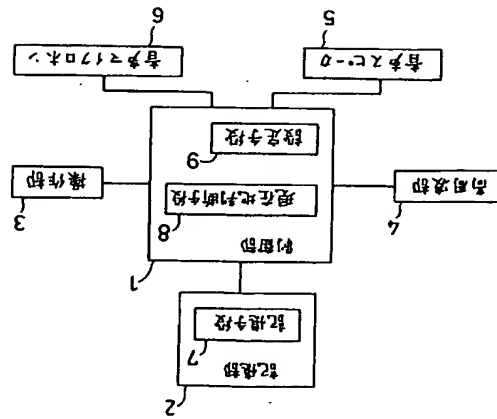


圖 1 總圖

第 2 図
(B)

